

卒業生によるボランティア活動グループ「わ」会報

情報ギャラリー

第22号

情報ギャラリー第22号

発行日 2003年5月15日
 編集 グループ「わ」広報部
 発行者 久保 雅一
 発行元 神戸市シルバーカレッジ
 社会還元センターグループ「わ」
 TEL (078) 743-8101
 FAX (078) 743-8103

新体制説明会、2回開催 会費制、活動費廃止、保険全員加入

会員数の増加や、助成、優遇策の縮減などで“わ”の財政基盤を改革する必要は先号でも報じましたが、具体的な財務内容も含めた制度改革の説明会が去る3月4日と5日にカレッジの学習室を借りて行われました。2回の説明会で100名を超える会員が集まりました。

久保代表からは主に財務基盤の変化など総括的な説明



3月4日第1回説明会 学習室3、4



3月5日第2回説明会 学習室1、2

が行われ、具体的な収支予測については黒田副代表から、またボランティア保険全員加入の必要性については赤司副代表からそれぞれ説明が行われました。

質疑、意見では会費制移行は止むを得ないという雰囲気でしたが、経費削減や寄付金集めに対する一層の努力要望が出されました。また川重基金や繰越金の取り崩しの可否についての質問もありましたが、基金については管理者のこうべ市民福祉振興財団の規定で取り崩しを禁じていること、繰越金については収支均衡の方針から手を付けられないとの回答がなされました。

ボ保険や運営費の扱いは運営委員会で決まりますが、会費制移行は規約改正案として総会に諮られます。



開きました“わ”のHP 神戸シニア人財ネットも

こうべ市民福祉振興協会が作った「神戸シニア人財ネット」と連動してグループ「わ」のホームページ(H P)が4月から正式に開かれました。

“わ”のHP(上図左)は一見シンプルな画面ですがあちこちのボタンをクリックするといろいろ奥があります。川柳コーナーや、写真・絵画のギャラリーは皆様の投稿作品を掲示しております。自信のある方、ない方どしどし投稿をお願いします。「K O B E 役立つリンク集」を辿るのはまるで情報のデパートに入った感じです。ぜひご自身で体験してみてください。

一方人財ネット(上図右)は、各自の特技を役立



てたい人、助けが欲しい人それぞれがネット上で交渉して話しを進めて行くためのサイトです。

特技提供の登録は“わ”会員に限ることなく誰でもできますし、グループ(コースなど)の場合は代表者の登録で構いません。これまで以上に活動の場を広げたい“わ”の各小グループはぜひ登録してください。

“わ”のHPはもちろん、人財ネットの運営も“わ”に委託されております。広報部HP小グループを作ってこれに当たりたいと考えています。関心のある方は事務局(743-8101)が、group-wa@portnet.ne.jpまでご連絡ください。

“わ”HPアドレス：
<http://www.wa-net.jp/>
 人財ネットアドレス：
<http://yaruki.wa-net.jp/>

環境部会

親子であつまれ 自然遊び パート

(財)長寿社会開発センターの助成金によるイベント「親子であつまれ 自然遊び塾」パート テーマ「自然を観察して春を食べよう」が平成15年3月15日(土)に“わ”の本部と環境部会が共催してしあわせの村野外センター「あおぞら」で行われた。

今回は28家族96名の応募があったが、あいにく雨模様で参加者は40名であった。しかしリピーターも含めて、熱心な家族の方々が多く、活気あふれる一日だった。

事前に採取しておいた食べられる野草の説明と調理した野草の試食や各種野草の観察、ピオトープで種々のカエルの卵の観察などをした。

去年秋に蒔いたドングリはまだ芽が出ておらず、子供たちは暖かくなったら見に来たいと言っていた。

樹木の太さ(円周)を当てるクイズでは親子共同で腕や指の長さを利用して測り、1cmの誤差で当てる子供もおり、賞品を貰って大喜びしていた。

メインイベントはテントキャンプ場でのヨモギやサツマイモ入りの餅つきであった。最近餅を搗いたことのない家族がほとんどなので、興味しんしん、親子共々順番に搗いてもらった。子供たちは大はしゃぎだったが、特にお母さん方が張り切って搗いておられた。搗いた餅を子餅にする作業も子供たちがもちとり粉で顔や手を真っ白にしなが、賑やかに嬉しそうに丸めていた。

丸めた子餅はすぐその場で食べたが、サイマイモ入りの餅に人気があり、次々におかわりして、アツという間に全部平らげてしまった。アアおいしかった!!

1日を振り返って幾つかの意見を紹介しますと

1.何か新しいことが分かりました



か?

野草のノビル、タンポポの葉、アザミなどが食べられるとは知らなかった、
試食したノビルの酢味噌和えがおいしかった、
オタマジャクシになる前の卵がヒジキのような形をしていておもしろかった

などの回答があり、食べられる野草に関することが65%以上で、食べられる野草がたくさんあることに驚いていた。

2.楽しかったことは何ですか?

餅つきを体験できたことと、初めて食べたサツマイモ入りの餅のおいしかったこと、
食べられる野草を試食してみた

が、大変おいしかったのでびっくりした、
このイベントで三世代の交流を体験できたことが嬉しかった
などで、餅つきに関することが70%を超え、我々の計画が当を得ていたものと思った。

その他にも

季節ごとに年4回開催して欲しい、

野草の天麩羅が食べたい

などの要望もあり、スタッフ一同、15年度も続けなければならないイベントの一つだと痛感した。最後に協力頂いたスタッフ、環境部会、その他多くの皆さんに感謝申し上げます。

(園5-環 田波 久紀夫)



文化部会

有馬街道 真星病院 にて
文化部「男声合唱団」黒田 宏

真星病院は神戸電鉄の谷上駅から一つ目の駅、花山から徒歩で5分の所に位置している。この病院もだんだん大きくなり、4月には増築工事が完了し、完成記念を兼ねたお祝いと慰問活動のためにいつものように男声合唱団とフラダンスが駆けつけ、入院患者と一緒に楽しいひとときを享受した。

演奏会場としては、受付けロビーと言うこともありあまり良い環境とは言えなかったが、平均年齢70歳の割には皆大変元気で大いに唄い喝采を浴びた。

最近癒し系の一つに、「音楽療法」が挙げられている。これは「音楽のもつ生理的、心理的、社会的働きを、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上に向けて、意図的、計画的に活用して行われる治療技法である」とされている。

我々の活動が上述の定義を満たしているとは決して思わないが、音楽を聴く楽しみ、また患者と一緒に歌う時の喜び、特に今回もそうであるが、民謡を歌ったとき皆が手拍子でこれに応え会場が一つになって音楽を満喫することができるのは何ものにも代えがたい。

当病院は院長が眼科の女医で、男声合唱団員の小西氏が治療を受けた

親子で集まれ昔あそび塾 2

好評だった前回を受けて第2回のあそび塾が3月9日(日)午後1時からシルバーカレッジのホールを中心に開かれました。対象は小学生親子で約260名が参加しました。今回はステージでお手玉とマジックのパフォーマンスがあって子供たちを喜ばせました。ホールでは竹とんぼ、紙飛行機、こま回し、あや取り、お手玉、折り染め、まりつきなどの手ほどきを受けてそれぞれに楽しんでいました。



こともあり、今回の慰問演奏を計画したものである。

これからのボランティア活動は相手から依頼がくるまで待機すると言うのではなく、今回の如く積極的にこ

ちらから申し入れをして、喜んでもらえるような活動にしていかなければならないのではないだろうか。そのためにはまた地区部会の皆様のご協力を得て推進すべきと考える。



ふれあいホールの片隅では紙芝居が上演され、終わると飴玉などを売って、これはやっている大人の方が昔を懐かしんでいたようでした。

中庭では指導の人や親御さんが竹

馬のりを伝授しており、ちらつく小雪も気にせず、中庭の横断に挑戦していました。

3時で解散となりましたが、子供たちは遊び足りないようでした。(広報)

東灘区会

7期生歓迎 東灘地区の集い

音5 - 東 藤井 潤子
毎月第2金曜日の定例会を今月は桜の見ごろ時期にあわせて、4月4日(金)に変更して六甲山の麓、さくら満開の渦森台に新入会員の7期生8名を迎えて、総勢27名の会員が歓迎のお花見会を開きました。渦森台は大阪湾は勿論、お天気の良い日には遠くに関西空港までを一望できる絶好のお花見スポットとして知られています。

当日は春霞ならぬ春雨けむる、あいにくのお天気でしたが、そんな事は一同いっさいおかまいなく和気あいあい、「雨の花見も風情があっついね」と談笑に花を咲かせながら楽しく一刻千金の時を過ごしました。

帰路はJR住吉駅近くの今日の会場、和風レストラン「かごの屋」まで約4キロのバス道に沿った美しい桜並木をシニアとは思えぬ健脚で、白鶴美術館、早咲きの住吉中学前など住吉川沿いのお花見スポットを觀賞しながら下山しました。

歓迎会場では会食に先だち藤井(音文5)から新会員歓迎の挨拶があり、河野さん(生環6)の発声で乾杯のあと懇親会に移りました。途中7期生の自己紹介などもあり終始和やかに予定の午後一時過ぎまで歓談し散会となりました。

東灘区会では7期生と共に楽しい仲間作りを目指しております。東灘区の全員が“わ”に入会され、色々な行事に参加されるようお待ちいたしております。d



住吉川沿い白鶴美術館前

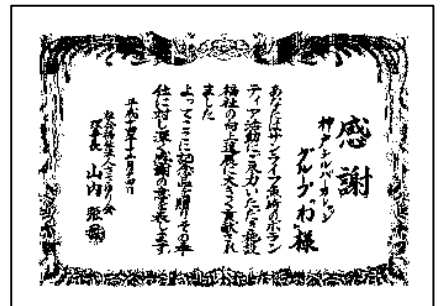
ボランティア表彰を受ける

東灘区会

昨年12月のクリスマス会で「社会福祉法人ささゆり会」よりボランティア表彰を受けました。同会には私たち東灘地区がボランティア活動の場とさせてもらっている特別養護老人ホーム「サンライフ魚崎」が併設されています。お相手はディサービスを利用されている高齢者の方たちです。

表彰をされたのは「手作業の部」で「手芸」を1年間にわたり指導して頂いて有難うございました、と云うことで感謝状と金一封を頂戴した。作品は可愛いおひなさま・鯉のぼり・ようじ入れ・状差し・根つけ・クリスマスカードなどです。

伊藤さん(美工1)の立案で先ず私たちが覚えてから利用者の方々と一緒に作ります。それぞれの作品は1



時間余りで完成しました。利用者の方々には出来上がった作品をお家に持帰られるのが非常に嬉しそうで「あよかったなあ」とその笑顔に私たちも感謝と充実感を覚えました。

なお、歌や書道などの指導もしていますが、ボランティアと云うものは地道にコツコツとやって行く事が大切だと感じています。相手にも喜ばれ、私たちも「少しは世間のお役立っているのだなー」と云う喜びが生れます。これからも私たちに出来ることを息ながく続けて行きたいと思っています。d

バス道沿いの桜並木



「サンライフ魚崎」にてボランティア表彰



兵庫区会

兵庫区ふれあい グランドゴルフ大会に参加

平成12年3月9日(日)第12回
兵庫区ふれあいグランドゴルフ大会
が小雪の舞い散る荒田グランドで開
催されました。

兵庫区に籍を置く企業並びに団体
より30チーム(180名)の参加
を得て熱戦を繰り広げました。兵庫
パンジーの会も2チームをエントリ
ーし、三島会長はじめ会員一同日頃
の練習成果を見せるべく頑張り、地
区の方々との交流に良い結果を得た
のではないかと考えています。

スコアはA-チーム:290、



B-チーム:291といまいちで
したが、高田隆造さんがホールインワ
ンを3回と大活躍で個人4位に入賞
し兵庫パンジーの会に花をそえまし
た。今後ともできるだけ練習の機会
を増やし、多くの会員に参加を呼び
かけたいと思います。

(生5-広 江本親治)



個人表彰 高田隆三さん(右)

選手宣誓 三島 兵庫パンジー会長



兵庫パンジーの会

総会・7期生歓迎会開催

4月11日(金)兵庫パンジーの会
の総会と7期卒業生歓迎会をかねJ
R神戸駅南側のクリスタルビル4階
において会員53名が出席して和気
あいあいのうちに開催されました。

開会にあたり三島さん(福祉1)
より「それぞれの体力と生活のリズ
ムに合った息の長いボランティア活
動と、健康と長寿の基になる親睦行
事への積極参加」を歓迎する旨の挨拶
があり、豊村さん(福祉4)の司
会により議事が進行しました。始め
に平成14年度活動報告、会計報告
に次いで役員の変更が行はれ三島会
長以下の新年度役員が選任されまし
た。引続き新年度の各部門の活動計
画発表並びに提案説明があり、また
グループ“わ”と兵庫パンジーの会
との緊密連携について山中兵庫地区



7期生へ歓迎の挨拶 三島会長

委員長(福祉3)から要旨説明のあ
と一旦休憩に入りました。

議事再開後は新会員の歓迎会に移
り、7期生の自己紹介、パンジーの
会への要望、期待などについて活発
な発言があり締めくくりは、恒例と
なった宮城さん(音文2)の指導で
全員が「青い山脈」大合唱のあと記
念撮影があり、予定通り正午過ぎ盛
会裏に閉会しました。



垂水区会



あじさいホールでの総会



(福1) 谷口さんの音頭で乾杯



168名の参加者で開会

垂水会平成15年度総会 舞子ビラで、懇親会も

SC垂水会の平成15年度の定期総会が4月14日(月)、午前10時半より舞子ビラ神戸の本館2階あじさいホールで155名が参集して開かれた。

総会は裏地副代表世話人の司会で進められ、井上代表世話人の挨拶に続いて、栗本世話人による14年度事業報告、牧野会計による14年度会計収支報告、会則改定の3つの議案がそれぞれ異議なく承認された。続けて15年度の世話人と事業部会担当が選出され、代表世話人として6期生環の吉崎敏男さんが世話人の互選で選出された。15年度の事業計画案と予算案が承認されて、5議案の議事がすべて滞りなく終了した。

その後、吉崎新代表世話人の就任挨拶があって、15年度の定期大会は閉会した。

総会の後、7期生新入会員に対する垂水会の活動説

明会が世話人により約30分間行われた。その間、他の会員はロビーでお互いの久闊を叙したり、談笑して次の懇親会を待った。

懇親会は同じ2階の六甲の間。12時10分前から広間に入場して開会を待った。ムードな照明と総芸1期の久保明さんの奏でるエレクトーンのBGMとが華やかな気分を盛り上げた。

定刻、国際5期の竹内孝さんの司会で始まり井上前代表の挨拶の後、福祉



吉崎新代表世話人

1期谷口一彦さんの乾杯の音頭で和やかなパーティが始まった。

ひとしきりビラ自慢の料理とフリードリンクを楽しんだ後、垂水会メンバー男女8名による楽しいコーラス、他地区からの賛助出演のフラダンス、銭太鼓などアトラクションがあって若やいで楽しい空気が広間一杯に広がった。他地区の方々は出演料はおろか逆にパーティ参加費を頂くという「悪条件」にも関わらず、快く出演くださった由。ありがとうございます。広間にアテンドした舞子ビラのスタッフの一人は「こんなに元気で活発なお年寄りにビックリしました」と言っていたそうだ。雰囲気盛り上がったところで全員で「大きな古時計」を合唱し、最後に生環3期中島洋吉さんの音頭で万歳三唱して、散会となった。

(国6-垂 朝日 照夫)

シルバーパソコン講座受付のご案内

募集期間: 5月19日(月)~5月26日(月) 午前11時30分~午後1時30分
2Fグループ“わ”、または電話(078-743-8101、ただし会員の方)にて受付けます。

募集人員: “わ”会員8名(参考:在校生20名)(申込者多数の場合は抽選します。)

講習時間: 午後3時~午後4時30分

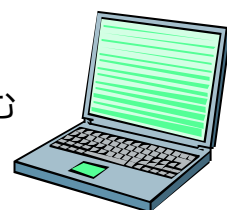
講習場所: 神戸市シルバーカレッジLL教室(2F)

講習日: 入門コース(8回)6月16日(月)~6月25日(水)

受講料 5,000円 テキスト代、資料代は受講料に含む

中級コース(4回)7月14日(月)~7月17日(木)

受講料 3,000円 テキスト代 2,000円



ティータム

もっともっと、もっとPRを

食5-灘 井上 善道

「大倉山の図書館に行ってみて驚きました。婦人大学の卒業論文集がデーンと棚を圧しているのです。一般の人は、中身はともかく、どうしても派手なものに目を奪われます。これでは(論文の一冊すら並べていない)シルバーカレッジ(SC)が、単なる遊びの場ととられても仕方ないと思いました。ことあるごとにSCが“金食い虫”と批判されるのは、こういったPR不足も原因しているのではないのでしょうか。“わ”も、もっともっとPRする必要があると感じました」

これは、灘区の会合でのメンバーからの発言です。

ほんとうにその通りだと思います。

区会などでお話をうかがいます

と、皆さんそれぞれに色々なボランティア活動をなさっています。回数も多いし、種類も多岐にわたっていて本当に驚かされます。でも、誰が何処でどんな活動をしているかを本人以外の一体何人が知っているでしょう。

自分がどんなボランティアをしているかは、発表の場もないし、口に出して言うべきことでもない・・・でも、果たしてそれでいいのでしょうか？

SCの存続が云々されている今、たとえ気恥ずかしくとも「我々は“再び学んで他の為に”を十分実践させてもらっていますよ」と世間に向かって声を大にして言うのが、私たち卒業生に課せられた使命なのではないでしょうか。

私が今春卒業した“いなみ野学園”でも、園生の卒業後の地域での活躍の如何が即、学園の評価につながることを良く承知していて、その辺のPR*には余念がありません。

そこで、私は“わ”のPRのひと

つとして、毎年一回メンバーの各員に“今自分がどんなボランティアをしているか”と“それらの活動に対する思い”などをA4用紙1枚ずつ書いてもらい、それを一組の冊子に仕立てて行政の要所々に配布してみてもどうかと案を立ててみました。

*いなみ野学園のPR活動とは
卒業論文集を地域の行政の福祉の責任者に卒業生自身が行って手渡しすること

卒業後にボランティアとして提供できる技術や知識を各人1枚ずつの用紙に書かせ、それをまとめたものを学園の名のもとに(正確には(財)兵庫県高齢者生きがい創造協会名で)県内各市町の教育委員会・公民館・老人クラブ連合会・社会福祉協議会・老人福祉センター・在宅介護支援センター・県健康福祉事務所等の合計1000ヶ所に配布し卒業後数年の間は、その活動の追跡調査をおこなっていることを指しました。

ウラジオストック航空で行く(関空より直行便) ~ 憧れのシベリヤ鉄道体験も ~

ウラジオストックとハバロフスクの旅5日間

旅行期間：平成15年9月5日(金)~9日(火) / 平成15年10月3日(金)~7日(火)

¥198,000 お申し込み、お問い合わせは“わ”事務局(078-743-8101)または大坪(078-709-2484)まで

日次	都市名(表示は現地時間)	摘 要	食 事
1	関西空港発 15:40 ウラジオストック 19:50	関西空港よりウラジオストック航空 XF806 便にて一路ウラジオストックへ(約2時間30分) 着後ホテルへ。(ウラジオストック泊)	機内 ペリメニ
2	ウラジオストック	ホテルにて朝食後、ウラジオストック市内観光。鷲ノ巣展望台、沿海州政府広場、C-56潜水博物館、要塞博物館、ロシア正教会、 Gum百貨店、イグナートマーケット等。昼食は名物ボルシチ 夕食は名物ビーフストロガノフ (ウラジオストック泊)	ホテル ボルシチ ビーフスト ロガノフ
3	ウラジオストック	ホテルにて朝食後、ウラジオストック市内観光。アルニセフ博物館、金角湾クルーズ、自由市場散策等、午後駅へ。夕刻発のシベリヤ鉄道「オケアン」号にてハバロフスクへ(2名1室コンパートメント利用) 19:00 頃乗車、翌朝8:00 ハバロフスク到着 (車中泊)	ホテル つば焼き お弁当
4	ハバロフスク	朝、ハバロフスク到着後、ホテルへ。ホテルにて朝食後、市内観光。ムラビヨファムールスキー通り、レーニン広場、コモソモール広場、アムール河展望台、中央百貨店、自由市場散策。昼食はペリメニ 夕食は名物コーカサス (ハバロフスク泊)	ホテル ペリメニ コーカサス
5	ハバロフスク発 09:50 ウラジオストック 着・発 関西空港着 14:30	ホテルにて早目の朝食後、空港へ。 XF504 便にて空路ウラジオストック着 10:50。 XF805 便に乗換え、現地時間 14:00 発、関西空港へ	ホテル 機内

旅行代金(¥198,000)に含まれるもの	旅行代金に含まれないもの
往復の航空運賃 宿泊ホテル(2名1室) 団体行動中のチップ 移動交通機関(専用車・氷河特急2等) 食事 朝:5回 昼:4回 夜:4回 観光施設入場料/ガイド/アシスタント	1人部屋使用代金(¥45,000) 飲料等個人の使用のもの 旅券に関する費用 査証代金(9,000円) 各国空港使用税(7,000円)

神戸市シルバーカレッジ開校10周年記念事業 概要決定

神戸市シルバーカレッジも1993年9月に創立されてからことして10周年を迎えることになり、昨年7月の構想委員会を経て同11月「開校10周年記念事業実行委員会」を設立。メイン・イベントである記念式典に関する概要が明らかになったので下記の通り紹介します。

日程的には9月24日(水)から28日(日)の5日間とし各種行事を行います。

在校生による「学園祭」は記念行事の一環として9月27日(土)に開催されます。

【第1日目】 日時：2003年9月24日(水曜日)

時間：開場12:00

場所：神戸文化大ホール

入場料：1000円(10周年記念誌代を含む)

プログラム及び日時

第1部 式典 13:00~13:50

- 1) 開会挨拶 開校10周年記念事業実行委員会
実行委員長 米谷 幸次郎 事務局長
 - 2) 学長式辞 **今井 鎮雄 学長**
 - 3) 来賓祝辞 未定
 - 4) 来賓紹介 未定
 - 5) 祝電披露
 - 6) 校歌発表 指揮者 **神戸大学教授 齋田 好男氏**
作曲 **神戸大学名誉教授 中村 茂隆氏**
作詞 **松蔭女子大学教授 安水 稔和氏**
- 司 会 末廣 暁子氏 (国際3年)

第2部 記念講演及びパネル・ディスカッション 14:00~16:30

- 1) 記念講演 **東京家政大学教授 樋口 恵子氏 (予定)**
演題：**再びの学びの中で育てたもの、育つもの**
- 2) パネル・ディスカッション
テ - マ：**シルバーカレッジのめざしてきたもの、めざすもの**

パネリスト：

関西学院大学社会学部教授 浅野 仁氏
NPO・コミュニティサポートセンター神戸理事長 中村 順子氏
グループ“わ”顧問(シルバーカレッジ生環3期OB) 中島 洋吉氏
グループ“わ”(シルバーカレッジ国際1期OB) 内海 尚枝氏
シルバーカレッジ学長 今井 鎮雄氏

コーディネーター：

関西大学社会学部教授 松原 一郎氏
司 会 松村 曜氏

第3部 祝賀会

日時：2003年9月24日(水曜日)

時間：17:00~

場所：神戸ハーバーランド ニュー・オオタニ 「鳳凰の間」

会費：7000円

実行委員会としては少なくとも200名の参加をお願いします。

第2日目以降の詳細については未定です。

開校10周年記念事業実行委員会 総務・広報部会 より

神戸市シルバーカレッジ10周年記念行事

入場無料
ただし、缶うカンパ

“ YALE UNIVERSITY ” FEMALE A CAPPELLA SINGING GROUP
Whim 'n Rhythm



エール大学女声合唱団

元気で、エレガントなプロ並の演奏で世界のファンを魅了！

日時： 2003年6月14日(土曜日) 13:00~16:00

第1部 演奏会

場所：神戸市シルバーカレッジ・カレッジホール(13:00~14:30)

**協賛出演 コーロKSC (神戸市シルバーカレッジ 混声合唱団)
KSC男声合唱団**

第2部 交流会

**場所：神戸市シルバーカレッジ 1階食堂(14:30~16:00)
(前売り整理券を発売)**

**主催：社会還元センター グループ“わ”
協賛：神戸市シルバーカレッジ**

3 近郊ウォーキング



稚児墓山

生4-北 廣川 幾雄

藍那古道、丹生山、帝釈山と縦走コースを歩いて来たら次は稚児墓山である。前号で述べた通り1579年の秀吉の丹生山焼き打ちの際、犠牲になった侍童、稚児を村人たちが憐れんで葬ったことから稚児墓山の名が付けたという伝説がある。伝説というには新しく、また具体的な話であるから多分真実だろう。

丹生山系で一番高く596mあるが、スタート地点が高いので、正味300mぐらいの軽登山である。しかし、ガレ場が多く上り下りとも傾斜がきついので甘く見てはいけない。足元はしっかり登山靴で固め、ステッキも必携である。ガイドブックでは帝釈山を下りて国道428号を横断して稚児墓山に上るように書いてあるが、私は逆の方から行くことをすすめたい。

箕谷駅前から市バス111系統衝原行きに乗って大滝口で下りる。僅か5分の乗車であるが、車が多く歩くには適していない道だから、面倒でもバスに乗るべきだ。下りると右側に柏尾台という新しい住宅地があるのでその中へ入って行こう。一区画が150坪ぐらいある大きな敷地に洋風の住宅がぼつぼつと建築中である。大きなガレージにベンツとB

MWとが並んでいるような家を横目で見ながら歩くこと30分で志久入口という道標に達する。

ここからが山道だが、すぐガレ場になる。しっかり足元を見つめて歩こう。30分ほどで肘曲りという地点に到着する。これを右に曲がれば志久峠を経て淡河方面へ行く、真っ直ぐ行けば稚児墓山だが、あと1キロだからここでゆっくり休んで行こう。肘曲りから相変わらずの石ころ道を30分登ればもう山頂である。小高い石積の中央に「稚児墓山伝説遺跡」という標柱が立っている。

帰路は縦走路の道標に従いながら約1.5kmかなりけわしい坂道を下り双坂池に出る。ここから428号をダラダラと約1時間歩かなければならない。私が逆コースを選んだ理由はこれで、登山口に至るまで1時間も車道を歩くのは我慢できない。帰り道なら何とか我慢できる。舗装道路を歩くのに飽きたころグリーンスポーツホテルのすぐ下に、Nというレストランがある。マーちゃんがお気に入りの店である。ここで一休みしてコーヒーを一杯、谷寺口のバス停まではあと5分である。



7期生から“わ”に寄付

シルバーカレッジの3年生は毎年、卒業時にカレッジに記念品を贈るのが慣わしになっています。ことし3月に卒業した7期生はパソコンの画面をスクリーンに投射するプロジェクター（PRJ）を選びました。カレッジのPRJはカレッジホールに据置型が備わっているほか、可搬型が1台ありましたが、パソコンの講習や学習の発表など最近では引っ張りだこだったようです。7期の方はG学習でPRJの不足を痛感されたようで、卒業記念品としてこれを選んだそうです。実際に購入ではIT機器の例に漏れず、相当価格が下がっていて、集めた資金が余ったそうです。余ったうちの一部として28,920円がグループ“わ”に寄付されました。

志を多として有益に使わせて頂きます。7期生の皆さん、どうもありがとうございました。紙上を借りてお礼を申し上げます。

(事務局)

編集後記

先号を出したときはイラク戦もSARSもありませんでした。3ヶ月で世の中ずいぶん変わるものですが、日本経済の閉塞状況は何年経ってもさっぱり好転する兆しが見えません。不況のあおりで“わ”も会費徴収に移ることになり、退会した方もいましたが、それを上回る7期生の入会で大勢は900人近い会員を維持しています。その総意が私たちの活動の源なのでしょうね。(サン)

“わ”のホームページ上でも情報ぎやらりーを閲覧できるようにした関係で、編集をカラーベースで行っています。編集の段階ではカラフルでなんとなく楽しくなるようなページができています。一度チャンスがあればフルカラーの情報誌が発行できたらいいのになあと考えるときがあるのですが…。夢かなあ(TS)